

1000人の第九合唱

玉島商工会議所では全国に誇るくらしき作陽大学のある街にふさわしい「音楽溢れる街 たましま」を推進するために、くらしき作陽大学や市民の音楽グループと連携して、地域住民と一体となった音楽イベントとして、「みんなで歌おうベートーベンの第九大合唱」を開催させていただきます。このイベントを通じて、参加者の皆さんの心の中に熱い情熱と苦境に負けない不屈の闘志が満ち溢れるきっかけになれば何よりの幸いです。最後までよろしくお願い致します。

◎期 日 平成14年1月20日(日) 15時開演(14時30分開場)

◎場 所 倉敷市玉島文化センター大ホール

◎第1部 15:00~15:25 **ブラスバンドの魅力をあなたに!**

出 演 天理玉島シニアバンド

◎第2部 15:30~15:55 **思い出の歌声喫茶をあなたと共に!**

歌唱指導 檜山武雄

伴 奏 檜山武雄(アコーディオン)

多田律子(アコーディオン)

園田 淳(エレキギター)

◎第3部 16:00~16:25 **オーケストラで「よろこびの歌」練習**

◎第4部 16:30~17:00 **ベートーベン交響曲第9番第4楽章の演奏**

指 揮 菊池 東(倉敷管弦楽団常任指揮者)

オーケストラ 倉敷管弦楽団

独 唱 ソプラノ 高橋昌子 アルト 矢内淑子

テノール 日高好一 バス 大原正義

合唱指導 仁科喜代蔵(倉敷市合唱連盟理事長)

練習ピアノ 畠山勝子

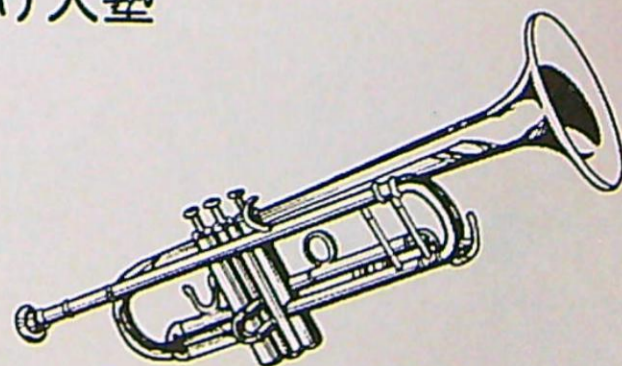
・くらしき作陽大学・市民コーラスグループ他

コーラスの方は客席にパートに分かれて前から詰めていただきます。

(客席の皆さんも合唱に加わっていただきます。)

1 主 催 玉島商工会議所まちおこし仕掛け人塾

1 協 力 くらしき作陽大学



思い出の歌声喫茶をあなたと共に

① ふるさと

高野辰介 詞
岡野貞一 曲

1 うさぎ追いし かの山
小鮎釣りし かの川
夢は今も めぐりて
忘れがたき ふるさと

2 いかにいます 父母
つつがなしや 友がき
雨に風に つけても
思い出ずる ふるさと

3 こころざしを はたして
いつの日にか 帰らん
山はあおき ふるさと
水は清き ふるさと



② 四季の歌

荒木とよひさ 作詞作曲

1 春を愛する人は
心清き人
すみれの花のような
僕の友達

2 夏を愛する人は
心強き人
岩をくだく波のような
僕の父親

3 秋を愛する人は
心深き人
愛を語るハイネのような
僕の恋人

4 冬を愛する人は
心広き人
雪をとかす大地のような
僕の母親

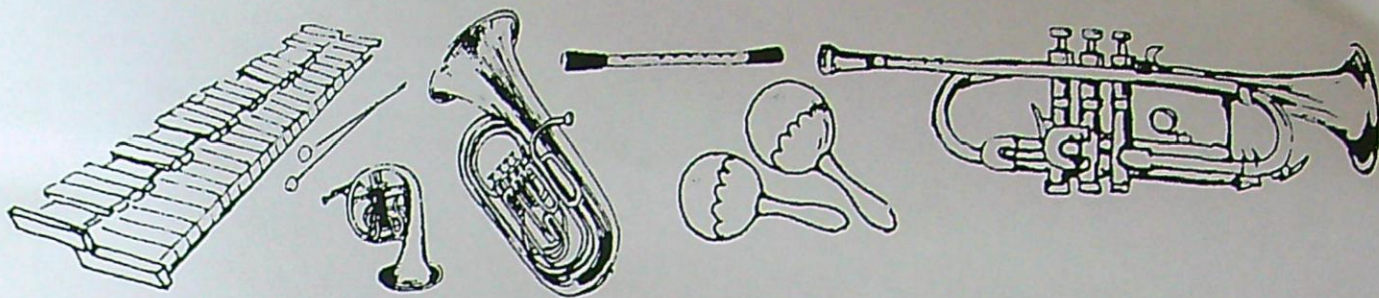
③ 夏の思い出

江間章子 詞
中田喜直 曲

1 夏が来れば 思い出す
遙かな尾瀬 遠い空
霧の中に 浮かびくる
優しい影 野の小径
水色蕉の花が 咲いている
夢みて咲いている 水のほとり
石楠花しよくなげいろに 黄昏る
遙かな尾瀬 遠い空

2 夏が来れば 思い出す
遙かな尾瀬 野の旅よ
花の中に そよそよと
ゆれゆれる 浮き島よ
水色蕉の花が 匂っている
夢見て匂っている 水のほとり
まなこつぶれば なつかしい
遙かな尾瀬 遠い空





ブラスバンドの魅力をあなたに！

天理玉島シニアバンドステージ

天理玉島シニアバンドは昭和43年に岡山県で最も古い市民バンドとして玉島地域を中心とする県内外の吹奏楽愛好家により創設されました。

メンバー一人一人が音楽活動を通じて社会に役立つ人材となることを目標に小学生から社会人まで年齢、職業に関係なく誰でも参加することができます。

演奏ジャンルはマーチ、歌謡曲、クラシック、ジャズ等幅広く、短時間のため吹奏楽の魅力を紹介し切れないのが残念ですがどうぞお楽しみください。

演奏曲目

- | | | | |
|---|---|----------------|---------|
| 1 | テーマ音楽「シルクロード」 | 作曲：喜多郎 | 編曲：藤田玄播 |
| 2 | チュニジアの夜
～A NIGHT IN TUNISIA～ | 作曲：J. D. ガレスビー | 編曲：真島俊夫 |
| 3 | トリビュート・トゥ・カウント・ベイシー・オーケストラ
— レッツ・トライ・イット・ワン・モア・ワンス —
Tribute to Count Basie Orchestra
—Let's Try it One More Once— | 作曲：C. ベイシー 他 | 編曲：真島俊夫 |



⑦ 泉のほとり

アルイモフ 詞

ノヴィコフ 曲

井上・川尻・長沢 訳詞

1 泉に水くみにきて娘らが話していた

若者がここへ来たたら冷たい水あげましょう

緑の牧場まきばにひげづらの兵士がやって来て

冷たい水がのみたいと娘たちにたのんだ

(リフレイン)

美しい娘さん ひげづらを見るな

兵士にやひげも 悪いものじゃない

わたしは陽気な若者

2 ふた月もの戦いでひげも髪ものびたのさ

このむさ苦しいなりを娘さんゆるしてくれ

そこへ床屋の兵隊が来て ひげづらは集まれ

みるみる若者は魔法の水で洗ったようになった

(リフレイン)

3 楽しみの時はすぎた今しばらくさようなら

平和を戦いとってまたみんなで踊ろうよ

矢のようにかけていく勝利の日めざし

若者になごりはつきぬ娘の歌は流れる

(リフレイン)

⑧ 山のロザリア

ロシア民謡

1 山の娘ロザリア いつも歌を歌うよ

遠い牧場日暮れて 星の出る頃

帰れ帰れもう一度 優しくかったあの人

涙流した 君の姿よ

2 黒い瞳ロザリア 独り歌を歌うよ

風にゆれる花のよう 涙ながして

帰れ帰れもう一度 優しくったあの人

胸に抱くは形見の 銀のロケット

3 ひとり娘ロザリア 山の歌をうたうよ

歌は甘く悲しく 星もまたたく

帰れ帰れもう一度 生命かけたあの夢

移りかわる世の中 花の散りゆく

4 山の娘ロザリア いつも独り歌うよ

青い牧場仔山羊も 夢を見ること

帰れ帰れもう一度忘れられぬあの日よ

涙流し別れた 君の姿よ

⑨ おおブルネリ

スイス民謡

松田 稔 訳

1 おおブルネリ あなたの

お家はどこ

わたしの お家は

スイツツランドよ

きれいな湖水の

ほとりなのよ

(リフレイン)

ヤホ ホトゥラララ

ヤホ ホトゥラララ

ヤホ ホトゥラララ

ヤホ ホトゥラララ

ヤホ ホトゥラララ

ヤホ ホトゥラララ

ヤホ ホトゥラララ ヤホホ

2 おおブルネリ あなたの

仕事はなに

私の仕事は 羊かいよ

おおかみでるので

こわいのよ (リフレイン)



④ 瀬戸の花嫁

山上路夫詞
平尾昌晃曲

1 瀬戸は日暮れて 夕波小波

あなたの島へ お嫁にゆくの
若いと誰もが 心配するけれど
愛があるから だいじようぶなの
だんだん畑と さよならするのよ
幼い弟 行くなと泣いた
男だったら 泣いたりせず
父さん母さん だいじにしてね

2 岬まわるの 小さな船が

生まれた島が 遠くになるわ
入江の向うで 見送る人たちに
別れを告げたら 涙が出たわ
島から島へと わたつてゆくよ
あなたとこれから 生きてく私
瀬戸は夕焼け 明日も晴れる
二人の門出 祝っているわ

⑤ カチューシャ

関 鑑子詞
ブランテル曲

1 りんごの花ほころび

川面^もにかすみたち
君なき里にも
春はしのびよりぬ

2 岸边に立ちて歌う

カチューシャのうた
春風やさしくふき
夢がわくみ空よ

3 カチューシャの歌声

はるかに丘をこえ
いまなお君をたずねて
やさしその歌こえ

4 1番と同じ

⑥ 灯(ともしび)

ロシア民謡

1 夜霧のかなたへ 別れを告げ

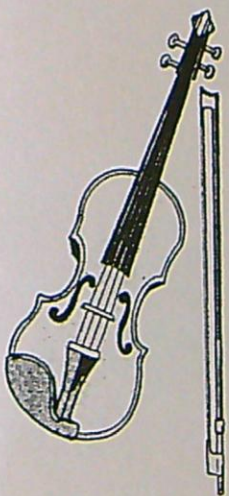
雄々^{いざ}しきますらお 出てゆく
窓辺にまたたく ともしびに
つきせぬ乙女^{おとめ}の 愛のかけ

2 戦いに結ぶ 誓いの友

されど忘れ得ぬ 心のまぢ
思い出の姿 今も胸に
いとしの乙女よ 祖国の灯^ひよ

3 やさしき乙女の 清き思い

海山はるかに へだつとも
二つの心に 赤くもゆる
黄金^{こがね}のともしび とわに消えず



wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.
 ヴェル デン ブリュ デル ヴォ ダイン ザンフ テル フリュ ゲルヴァイルトゥ

wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.

wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.
 ヴェル デン ブリュ デル ヴォ ダイン ザンフ テル フリュ ゲルヴァイルトゥ

wer - den Brü - der, wo dein sanf - ter Flü - gel weilt.

5an

(東京音楽社より)

ベートーヴェン作曲 交響曲「合唱」第九番 二短調 作品125番

「第九交響曲」として有名なこの曲はシラーの「歓喜に寄す」を題材に作曲されたものだが、これを書くためには、じつに長い年月を要している。約30年の長きにわたる。初演は1824年5月7日、ウィーン、ケルントナー・トア劇場にて、ベートーヴェン指揮の下に行なわれた。つづいて同月23日に再演された。演奏は1時間10分。ベートーヴェンはこのとき完全に耳が聞こえなかったが、彼は他人にこの曲の指揮をさせることをどうしても承知しなかった。そこで、ケルントナー・トア劇場の管弦楽団の指揮者であるウムラウフが、ベートーヴェンを助けることになったのだ。演奏が終わると熱狂的な騒ぎが起こったが、ベートーヴェンはまだ指揮棒を手に突立っていた。アルトの歌手が進みよって彼を後ろに向けさせた。はじめて聴衆の喝采の嵐がわかった彼は、ていねいに挨拶をしたと伝えられています。

第一楽章 アレグロ・マ・ノン・トロツポ・ウン・ポコ・マエストーソ。なにものかを求めての努力。現状に対する不満と、^{しょうりょ} 焦慮。口に出そうとするが、それが巧みに表現のできぬもどかしさ。

第二楽章 モルト・ヴィヴァーチェ。厳格なフーガ形式を守りつつ、そこに^{ほうれい} 豊麗な曲趣と^{こうき} 光輝ある生命のリズムを躍動させている。

第三楽章 アダージョ・モルト・エ・カンタービレ・アンダンテ・モデラート。洗練された^{けだか} 気高い詩趣、それが自然に勢いをまして^{よど} 淀みなく美しい曲を進める。

第四楽章 プレスト。冒頭の騒然とした混乱は低音楽器のある^{せんじょ} 宣叙ふうな旋律によって緊張の空気をかもし出す。楽想は緊張の度をまして次第に威力をまし、突如として現われる黙止のあとに^{りんぜん} 凜然と示される。響きわたるバリトンの声、楽団そのものが一つの人格として示される。高らかな^{しょうか} 歓喜の頌歌への前唱である。

「ああ友よ、この調べにはあらず、われらより^{こころよ} 早く、より^{よろこ} 歓びにあふれたる調べをうたわずや」

「^{よろこ} 歓喜よ、^{うる} 神々の^{エリジウム} 美わしき火花よ、^{なんじ} 楽園の娘よ、われらは感激に酔いしれ^よ 汝の^{きよ} 聖所に入る。ああ、^{きよ} 聖き者よ。

世の^{ならい} 慣習が^{むご} 酷くも引き分けしものを、^{つばさ} 汝の^は 優しき翼の^は 羽ばたきとどまる所々に、^{はらから} 人びとはみな兄弟となる……と」

⑩ 翼をください

山上路夫 詞
村井邦彦 曲

1 いま私の願いごとが

かなうならば翼が欲しい
この背中に 鳥のように
白い翼 つけてください

(リフレイン)

この大空に翼をひろげ
飛んで行きたいよ

悲しみのない自由な空へ

翼はためかせ

行きたい

2 いま富とか名誉ならば

いらなけれど 翼がほしい

子どもの時 夢見たこと

今も同じ 夢に見ている

(リフレイン)

⑪ エーデルワイス

オスカー・ハマースタインII 詞
リチャード・ロジャース 曲
徳山博良 日本語詞

1 エーデルワイス エーデルワイス

やさしい花よ

けがれ知らぬ 清らかな花

白い雪の中に 永遠とこよほの命

エーデルワイス エーデルワイス

故郷の花

2 エーデルワイス エーデルワイス

小さな花よ

光りかおる 幸せの花

白い雪の中に 永遠の命

エーデルワイス エーデルワイス

あこがれの花



sf Hei - lig-tum! Dei - ne Zau - ber bin - den — wie - der, was die —
 ハイ リヒトゥム ダイ ネ ツアウ ベル ビン デン ヴィー デル ヴァス ティ

sf Hei - lig-tum! Dei - ne Zau - ber bin - den wie - der, was die —

sf Hei - lig-tum! Dei - ne Zau - ber bin - den — wie - der, was die —
 ハイ リヒトゥム ダイ ネ ツアウ ベル ビン デン ヴィー デル ヴァス ティ

sf Hei - lig-tum! Dei - ne Zau - ber bin - den wie - der, was die

Ped. 560 * Ped. * Ped. * Ped. *

ff Mo - de streng ge - teilt; al - - - le Men - schen wer - den Brü - der,
 モ デ シェトレンゲ タイルトゥア レ メン シェン ヴェル デン ブリュ デル

ff Mo - de streng ge - teilt; al - - - le Men - schen wer - den Brü - der,
sf

ff Mo - de streng ge - teilt; al - - - le Men - schen wer - den Brü - der,
sf

ff Mo - de streng ge - teilt; al - - - le Men - schen wer - den Brü - der,

Ped. * Ped. * Ped. * Ped. *

570

wo dein sanf - ter Flü — gel weit. Dei - ne Zau - ber bin - den —
 ヴォ ダイ ン ザ ンフ テ ン フ リ ユ ゲ ルヴ ァ イ ル ト ウ ダ イ ネ ツ ア ウ ベ ル ビ ン デ ン

wo dein sanf - ter Flü — gel weit. Dei - ne Zau - ber bin - den

wo dein sanf - ter Flü — gel weit. Dei - ne Zau - ber bin - den —
 ヴォ ダイ ン ザ ンフ テ ン フ リ ユ ゲ ルヴ ァ イ ル ト ウ ダ イ ネ ツ ア ウ ベ ル ビ ン デ ン

wo dein sanf - ter Flü — gel weit. Dei - ne Zau - ber bin - den

Ped. * Ped. * Ped. *

wie - der, was die — Mo - de streng ge - teilt; al - - le Men - schen
 ヴ ィ ー テ ル ヴ ァ ス デ イ モ デ シ ュ ト レ ン ゲ タ イ ル ト ウ ア レ メ ン シ ェ ン

wie - der, was die — Mo - de streng ge - teilt; al - - le Men - schen

wie - der, was die — Mo - de streng ge - teilt; al - - le Men - schen
 ヴ ィ ー テ ル ヴ ァ ス デ イ モ デ シ ュ ト レ ン ゲ タ イ ル ト ウ ア レ メ ン シ ェ ン

wie - der, was die Mo - de streng ge - teilt; al - - le Men - schen

Ped. * Ped. * Ped. * Ped. * Ped. *

よろこびの歌

(An die Freude)

シラー 作詞
ベートーベン 作曲

M

Sop. *f*

Freu - de, schö - ner Göt - ter - fun - ken, Toch - ter aus E - ly - si -

Alt. *f*

Freu - de, schö - ner Göt - ter - fun - ken, — Toch - ter aus E - ly - si -

Ten. *f*

Freu - de, schö - ner Göt - ter - fun - ken, — Toch - ter aus E - ly - si -

Bass. *f*

Freu - de, schö - ner Göt - ter - fun - ken, — Toch - ter aus E - ly - si -

合 唱

Freu - de, schö - ner Göt - ter - fun - ken, — Toch - ter aus E - ly - si -

M

sf

um, wir be - tre - ten feu - er - trun - ken, Himm - li - sche, dein

ウ ム ヴ ィ ル ベ ト レー テ ン フ ォ イ エ ル ト ウ ル ン ケ ン ヒ ャ ム リ シ ェ ダ イ ン

sf

um, wir be - tre - ten feu - er - trun - ken, Himm - li - sche, dein

ウ ム ヴ ィ ル ベ ト レー テ ン フ ォ イ エ ル ト ウ ル ン ケ ン ヒ ャ ム リ シ ェ ダ イ ン

sf

um, wir be - tre - ten feu - er - trun - ken, Himm - li - sche dein

ウ ム ヴ ィ ル ベ ト レー テ ン フ ォ イ エ ル ト ウ ル ン ケ ン ヒ ャ ム リ シ ェ ダ イ ン